

不活化ポリオワクチンについて

監修 千葉大学医学部附属病院

感染症管理治療部

いしわたなるひこ
石和田稔彦 医師

日本では、これまで生ポリオワクチンを集団で2回飲むことでポリオを予防してきました。生ポリオワクチンは、感染を防ぐ効果が高く、有効性・安全性に關しても長期の実績があります。

しかし、ごくまれに接種後に手足などに麻痺を来たす場合(ワクチン株によるポリオ麻痺)があります。

一方、不活化ポリオワクチンは、感染を防ぐ効果は生ワクチンに比べて弱いのですが、ポリオの発病を予防する効果があり、ワクチン接種後のポリオ麻痺発症の恐れがありません。

日本では今年9月に導入され、11月頃からは三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンが一緒になった四種混合ワクチンが導入される予定です。

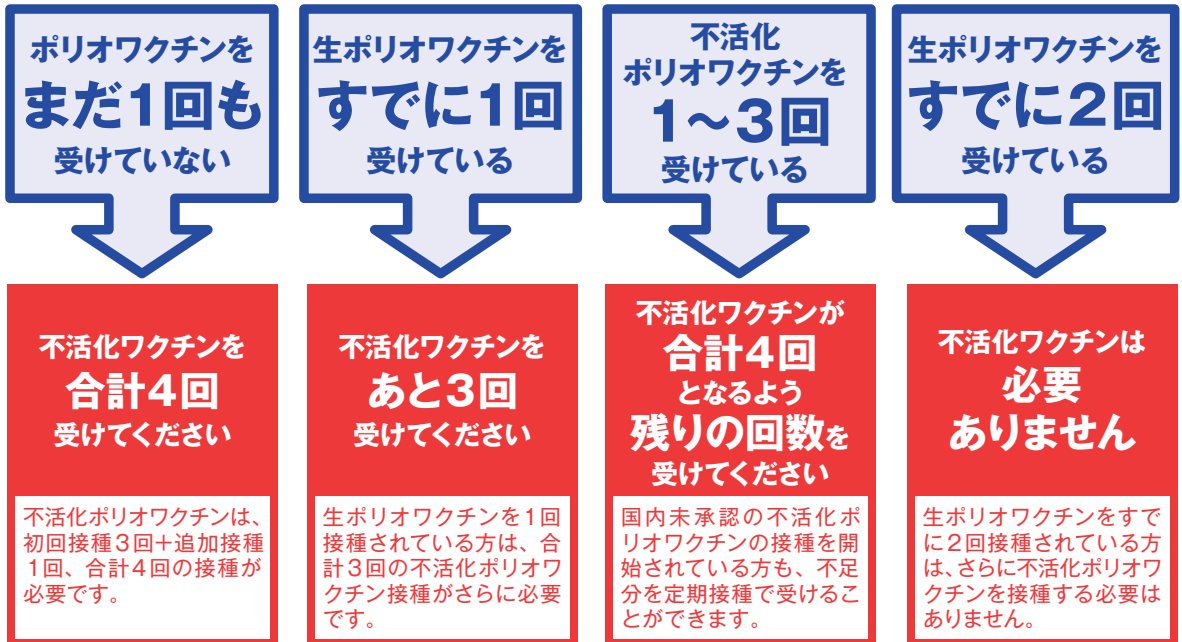
不活化ポリオワクチンは注射のワクチンです。三種混合ワクチンと同じ時期に、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計で4回の接種を行います。

すでに、ポリオワクチンの接種を受けている方は、下記の図を参考に今後の接種スケジュールを組んで下さい。

個人のポリオウイルス感染を防ぎ、ポリオの流行のない社会を保つためには、今後もワクチンの接種率を高く保つことが必要です。

どうすればいいの？ ポリオワクチン

単独の不活化ポリオワクチン導入(平成24年9月1日予定)から、4種混合ワクチン導入までの接種方法



★使用する不活化ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチンです。

★不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。

★追加接種とは、生・不活化を問わず、全体を通して4回目となるポリオワクチンです。

★3種混合ワクチンは従来通り受けてください。

★平成24年9月1日の導入時点では4回目の追加接種は定期接種対象外です(現在国内臨床試験を実施中のため、データが整い次第導入予定)

図/出典：厚生労働省